

生涯を通じて市民一人ひとりが健康でいきいきと心豊かに満足して暮らすことができる

- 【目標】
- ①健康のための知識・態度・技術の向上
  - ②市民主体の健康づくりの推進③健康づくりを支援する仕組みづくり

平成24年度までの目標

- ★特定健診の実施率(65%達成)
- ★特定保健指導実施率(45%達成)
- ★メタボリックシンドローム該当者及び予備群\*の減少率(10%減少)

『未受診者対策』

北九州市の状況

●人口総数	北九州市 984,953人	福岡県 504万人	全国 12,769万人
●老年人口割合	23.9%	19.6%	20.2%
●国保被保険者数	26.7万人	180万人	4,727万人
●国保加入率	27.1%	35.7%	37.1%
●生活保護率	12.8%(H20)	18.5%	11.8%(人口・保護率H20)(国保状況H19)

平成27年度(2015年)までに ★糖尿病等の患者・予備群の25%減少

【北九州市の医療の現状】(H18)

- 人口10万あたりの病院数 9.3(政令指定都市第2位)
- 人口10万あたりの病院病床数 1943.2(政令指定都市第2位)
- 人口10万あたりの一般診療所数 101.3(政令指定都市第5位)
- 人口10万あたりの一般診療所病床数 203.5(政令指定都市第1位)

特定健診・保健指導実施

医療保険者が実施主体

医師数(人口10万対)

福岡県	262.8人	(H18)
北九州市	314.6	(H18)

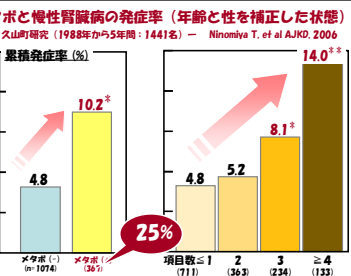
医師数は福岡県より多い

条件

生活習慣

- 日ごろから健康のための運動をしていない人の割合⇒52.2%
  - ほとんど毎日飲酒をしている人の割合⇒21.4%(前回の調査に比べ飲酒頻度は減少)
  - 喫煙率⇒20.2%(前回の調査より減少)
  - 悩みやストレスが大いにある人の割合⇒19.7%(前回の調査に比べ増加)
  - 自分の食生活に何らかの問題があると考えている人の割合⇒32.6%
  - 年1回の検診の有無の割合⇒56.9%(前回の調査に比べて低下)
- (平成20年度北九州市健康づくり)

【参考】



予防

低い受診率! 健診

- H19年度基本健康診査(国保加入者40~74歳)
  - ①受診率20.7%
  - H20年度特定健診受診率 21.5%(暫定値)
  - がん検診受診率(H19)
    - ①胃がん検診 2.6%
    - ②子宮頸部がん検診 12.6%
    - ③乳がん検診 5.7%
    - ④大腸がん検診 2.1%
    - ⑤肺がん検診 6.6%

H20年齢階級別特定健診実施率(5~3月)

年齢	実施率
40歳代	5.9
50歳代	13.1
60歳代	53.1
70~74歳	27.8

40~50代受診率が特に低い

●H20特定健診結果(5月~3月)

予備群	男性		女性	
	人数	割合	人数	割合
予備群	280	3.7%	220	4.3%
予備群	656	22.0%	1,138	22.4%
予備群	571	7.6%	293	5.8%
予備群計	2507	33.3%	1651	32.5%
該当者	915	12.1%	730	14.4%
該当者	403	5.3%	214	4.2%
該当者	868	20.8%	934	18.4%
該当者計	1,518	20.1%	1,042	20.6%

予備群は血圧が多い。該当者は血圧と脂質及び血糖と血圧と脂質が多い

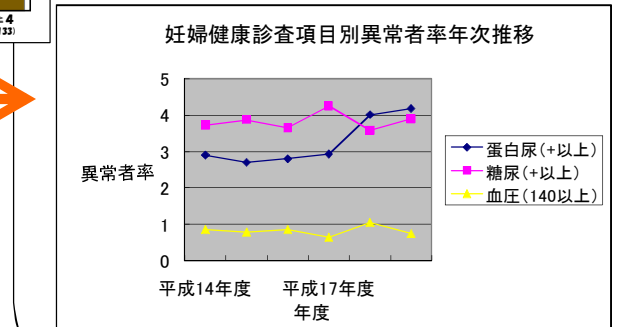
●H20特定健診結果(5月~3月)

動機づけ支援	4,977	12.6%
積極的支援	1,672	4.2%
情報提供	32,865	83.2%
受診必要	9,479	24.0%
受診不必要	8,060	20.4%
生活習慣病治療中	15,326	38.8%
判定不能	1	

特定保健指導対象者よりも情報提供の生活習慣病治療中や受診必要者の占める割合が多い

メタボは CKDの予備群 eGFR60未満⇒6,241人(15.8%)

【H20 特定健診 5月~3月】



医療

●H20.5月主病疾病29分類別受診率(入院外計)

順位	疾病名	受診率
1	歯科	14.04
2	高血圧性疾患	11.61
3	筋骨格系	7.81
4	呼吸器系疾患	7.09
5	糖尿病	5.7

生活習慣病に関する受診率をみると高血圧性疾患が多い。

●H20.5月主病疾病29分類別費用額

順位	疾病名	費用額
1	歯科	6.4億
2	高血圧性疾患	3.6億
3	糖尿病	2.5億

費用額をみると循環器系疾患が3番目に多い。

●H20.5月主病疾病29分類別費用額(入院計)

順位	疾病名	費用額
1	精神・行動	6.1億
2	新生物	3.5億
3	循環器系疾患	2.8億

平成10年度~全国1位 伸び率も高い

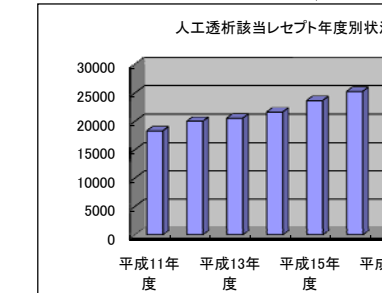
●一般1人あたり(H19) 福岡県医療費26.5万円 13位 北九州市医療費29.8万円

●退職1人あたり(H19) 福岡県医療費45.0万円 6位 北九州市医療費46.3万円

●老人1人あたり(H19) 福岡県医療費108.2万円 1位 北九州市医療費111.2万円

すべて福岡県より北九州市は高い。福岡の医療費を上げているのは北九州市。

●北九州市国保における透析患者数の推移(H11~H17)



●北九州市における年齢階層別人工透析医療状況(H20.5)

年齢	割合
40~49	11.6%
50~59	39.8%
60~69	41.9%

介護

●介護認定率

福岡県(H18)	16.9%	11位
北九州市(H18)	20.0%	

●介護給付費

福岡県(H17)	28.9万円	9位
北九州市	(H14) 483億 (H15) 523億 (H16) 568億 (H17) 582億	

【原因疾病】在宅分1位 高血圧性疾患 施設分1位 脳梗塞

◆特定健診の結果、医療費をみても高血圧の問題は大きい。また、脳血管疾患の死亡率前年比は伸びており、血圧のコントロールができていなかったことも考えられる。

◆人工透析は毎年増えており、糖尿病の合併症である糖尿病性腎症が増えていることが原因と考えられる。

◆妊婦の蛋白尿が年々増えており、慢性腎臓病(CKD)が今後増えることが考えられる。

北九州市では..

「高血圧と糖尿病対策」が柱となる。その際、慢性腎臓病(CKD)の視点を踏まえた対策をとる必要がある。また、がん検診、特定健診等受診率向上に向けての対策も必要である。

母子事業を含めた全ライフステージにおいて生活習慣病対策が必要である。(全事業でこの視点で保健活動の展開が必要である。)

【ポピュレーションアプローチ】 育児講座、健康教育、乳幼児なんでも相談、健康相談等

【ハイレスクアプローチ】 訪問・電話・健康相談によるアプローチ

ポピュレーションアプローチとハイレスクアプローチは運動させ、地域保健活動を展開